

第2回食品産業戦略会議 議事概要

○日 時 平成30年11月16日(金) 8:00~9:30

○場 所 食料産業局第1会議室

○出席者 大塚委員、加藤委員、川名委員、篠崎委員、中嶋委員、藤本委員、宮川委員、山口委員

新井食料産業局長、倉重大臣官房審議官、渡邊輸出促進審議官、東野食品製造課長、山平農林水産技術会議事務局研究推進課課長補佐、石川農業・食品産業技術総合研究機構企画調整部研究管理役

概 要

(議事)

(1) 有識者の取組紹介「製造現場における機械化の現状について」

- (株)ケーアイ・フレッシュアクセス内村物流本部長から、会社概要、1/2カット・小包装等青果流通加工の直近のトレンドと背景、取り扱う加工食品、機械導入の効果と事例及び機械化の課題等について紹介。
 - ・ 量販店等の従業員の人手不足によるアウトパックの需要増や核家族化・個食化による少量製品の需要の増加により直近8年間で取扱高が4倍。
 - ・ 青果流通加工では製品の差別化のため仕様が多いこと、中小機械メーカーとの接点が少ないことが機械化の遅れている一つの要因。
- 宮川製菓(株)宮川代表取締役社長から、会社概要、飴の製造・包装工程、機械化・労働力不足の現状、効率化の課題等について紹介。
 - ・ 中小企業は、職人(熟練)の技により大手企業との製品の差別化を図っていること、こだわりのある製品ごとに別の機械を導入する必要があることから機械化が進んでいない。
 - ・ 社員の労働環境改善や製造工程の一部に機械を導入しているが、人手不足解消のため、同業内で作業員を派遣しあえる環境整備や機械の中古市場の充実等が望まれる。

(2) 意見交換

○ 有識者の取組紹介を踏まえた委員からの主なコメントは以下のとおり。

(機械化の是非等について)

- ・ 個食や多様化により市場は多品種少量化に向かっており、大手と中小の棲み分けが難しい時代になってきている。企業は進化するICT技術(AIやロボティクスなど)を活用して多品種少量生産の機械化に取り組んでいる段階で、これが進むといよいよ大手と中小の垣根は下がり、産業構造が激変する可能性がある。
- ・ 熟練の技を代替できる道具や社員の負担を軽減できる低価格のロボットスーツなどの道具の開発も望まれる。
- ・ 業務及び経済メリットの2つの面から機械化できるものとできないものというマトリクスに整理できる、そこを事業者としてどう考えるか。
- ・ 自動化の判断はどこに付加価値を求めるかによって変わる、品質管理しながら

製品を作り込む工程にはどうしても人が必要な部分がある。

- ・ ロットの切り替えや個別化に対応しようとする機械は、開発コストがかかるため機械化する工程を詰める必要。また、企業コンセプトとして職人を売りにしている部分、品質管理に関わる部分は機械化にはなじまないのではないか。

(従業員の意識について)

- ・ 職人(熟練)とは、包装工程まで含めて製品の一連の工程をイメージできる人、最低でも6年くらいかかるし、お客様のリクエストにも対応できる人。また、4、5年で製菓衛生士の受験資格が得られるし、10年で中小企業技能功労賞の区への推薦の資格が得られ社員の意欲の向上に寄与している。
- ・ 従業員のモチベーションを高める施策は、そろそろ国単位でやっていかないといけない時期に来ているのではないか。

(その他)

- ・ 核家族化や価値の多様化により多品種化が進み、企業の生産性はあまり上がっていないように感じる。例えば、従来は主婦がやっていた野菜のカット作業が流通に移っているのは、手間がかかるという問題ではなく野菜を丸ごと購入しても余らせてしまうと主婦が意識しているからであり、フードロスとトレードオフにあるのではないか。しかし、カットした野菜は日持ちが落ちるので逆に流通でのフードロスは増えているはずであり、カット野菜の浸透が本当にフードチェーン全体でフードロスの削減につながっているかは分からない。
- ・ フードロスの知識は少しずつ蓄積されていくが、小売によって規格が異なることがコストの割高要因になっていることなど、消費者には思いもよらない部分がある。メディアの発信量の違いだと思うが、LCA (Life Cycle Assessment : 製品やサービスに対する環境影響評価の手法) 的な発想で国が分析し、メディアと連携して発信していくことも必要ではないか。
- ・ 物流面では、パレットに合わせた規格をメーカーや小売が意識するようになると標準化するし、バラ積みがパレット積みになり省力化する。また、容器やパレットは、流通の途中段階で入れ替えるとコストアップになるため、共通化の取組を川上からやってもらうとコストダウンに繋がっていく。

(3) 今後の予定等について

- 食料産業局より、今後の予定等について説明。

以上